

高等学校 令和8度（2学年用） 教科 家庭 科目 家庭総合

教科： 家庭 科目： 家庭総合 単位数： 2 単位

対象学年組：第 2 学年 1 組～ 6 組

教科担当者：（1・2・4・6組：新村、3・5組：檜山）

使用教科書： 高等学校 家庭総合 持続可能な未来をつくる（ ）

教科 家庭 の目標：

- 【知識及び技能】 人間の生涯にわたる発達と生活の営みを総合的に捉え、家族・家庭の意義、家族・家庭と社会との関わりについて理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活を主体的に営むために必要な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- 【思考力、判断力、表現力等】 家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して生活の課題を解決する力を養う。
- 【学びに向かう力、人間性等】 様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、自分や家庭、地域の生活を主体的に創造しようとする実践的な態度を養う。

科目 家庭総合 の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて、生活を主体的に営むために必要な科学的な知識と、それらに係る技能を身に付けている。	家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身に付けている。	様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の充実向上を図ろうとする実践的な態度を身に付けている。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学 期	A 家庭科を学ぶ 【知識及び技能】 ・授業を通して自分自身と家族、社会のつながりを知る。 【思考力、判断力、表現力等】 ・授業を通して生活の中から問題点を設定し解決策を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・親子、夫婦、扶養さらに相続と親族全般を理解し、出生家族及び創設家族の一家族員として生かせる力を身に付ける。	【指導事項】 ・家庭科の授業のルール 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・歴史的、文化的、社会的制度としての家族に打ち手理解できるか。 【思考・判断・表現】 ・世帯の動向に見られる特徴とそれを規定する社会的要因を分節し検討できるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家庭総合で学ぶ内容について生活の中から課題を見出す実践的な態度を身に付けている。	○	○	○	2
	B これからの生き方と家族 【知識及び技能】 ・家族、家庭、世帯の関係を理解し、家族の法律（民法）の旧・新の違いを理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・民法の内容を理解し、時代の変化に対応しながら良い家族関係を築く力を身に着ける。 【学びに向かう力、人間性等】 ・自立した生活を営むために、生涯を見通しながら、様々な生活課題に対応して適切に意思決定し、責任を持って行動することが重要であることへの理解を深める。	【指導事項】 ・生涯発達する自分 ・家族・家庭・世帯 ・家族に関する法律-家族と法、夫婦、親子、扶養、相続 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・明治民法と現行民法を比較し、それらの違いを知った上で、これまでに実現した家族法の主な改正点や検討中の内容についての知識を得たか。 【思考・判断・表現】 ・親子、扶養、相続など家族に関する法律や社会制度の基礎的内容をもとに現在および将来における家庭生活をより良いものに創造する力を育んでいるか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・家族法の視点で生活を見て、課題を見つけ、解決しようとする実践的な態度を身に付けているか。	○	○	○	12
	C 次世代を育む 【知識及び技能】 ・新生児の特徴や乳幼児の食生活に関する基礎的知識を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 ・乳幼児の成長過程をに応じた心身の発達を理解する。 【学びに向かう力、人間性等】 乳幼児の表情や不十分な言葉による伝達から乳幼児の気持ちを理解しようとする思考を身に付ける。	【指導事項】 ・乳幼児の体の発達 ・乳幼児の心の発達 ・親と子のかかわり ・乳幼児の生活と安全 ・乳幼児の食生活- 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート ・保育人形	【知識・技能】 ・乳幼児の特徴を理解できたか。 ・乳幼児の発達の順序と発達・発育内容を理解できたか。 【思考・判断・表現】 ・乳幼児の表情から乳幼児の気持ちを理解したり、あやしたりする態度を身に付けることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・保育人形やロールプレイング、保育課題に積極的に取り組むことができたか。	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1

2 学 期	D 衣生活を作る（実習） 【知識及び技能】 ・布の性質及び縫製上の基礎知識を得、簡単な日常着を作る技能を身に付ける。 ・基本的なミシン操作ができる。 【思考力、判断力、表現力等】 ・製作の手順を理解し効率的にエプロンを製作することができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・自分の体型や着丈の好みに応じ裁断し、好みの大きさのエプロンを製作することができる。	【指導事項】 ・被服を長く大切に使うために ・被服実習（エプロン製作2） 【教材】 ・教科書 ・ワークシート ・記録用紙 ・エプロン	【知識・技能】 ・正しく待ち針を打つことができ、きれいに縫製できたか。 【思考・判断・表現】 ・裁断。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・被服の手入れ方法を適切に選択し、実生活で取り入れようとしているか。	○	○	○	11
	E 充実した生涯へ 【知識及び技能】 ・高齢者の心身の特徴を理解する 【思考力、判断力、表現力等】 ・長くなった人生を可能な限り充実させるために何が必要か考える。 【学びに向かう力、人間性等】 ・生涯を見通して高齢期をとらえることができる。	【指導事項】 ・超高齢社会を生きる ・人生の中で高齢期をとらえる ・高齢期の生活 ・高齢社会を支えるしくみ 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・・高齢期の心身の特徴とそれらには個人差があることを理解できたか。 【思考・判断・表現】 ・可能な限り充実した人生のための高齢期の過ごし方について考えることができたか。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・生涯を見通して自分の高齢期についてもとらえることができたか。	○	○	○	10
	F 経済生活をつくる 【知識及び技能】 ・家庭の収入と支出を通して家計の構造を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・個人や家族の生活目標を実現するために、経済計画を考える。 【学びに向かう力、人間性等】 正確な知識や情報を収集し、主体的に判断し行動する態度を身に付ける。	【指導事項】 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・家計の構造を理解し、短期・長期の経済計画が必要であることを理解できたか。 【思考・判断・表現】 ・生活目標を実現するための経済計画を立てることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・正確な知識と情報を収集し、主体的に行動することができたか	○	○	○	12
	定期考査			○	○		1
3 学 期	G 衣生活をつくる 【知識及び技能】 ・人の生理機能と被服の関係や被服素材の特徴を知る。 ・洗濯方法と基本記号を理解する。 【思考力、判断力、表現力等】 ・被覆性能改善のための加工を取り入れ、利便性のある衣生活を送る態度を身に付ける。 【学びに向かう力、人間性等】 態度を身に付ける。	【指導事項】 ・被服の機能 保健衛生上の機能 ・被服の素材 繊維の種類と特徴 ・被服の素材 布の種類と被服素材の性能 ・洗濯方法と表示 【教材】 ・教科書 ・資料集 ・ワークシート	【知識・技能】 ・快適な被服気候を形成する衣生活が工夫ができるか。 ・洗濯表示を理解し被服管理ができるか。 【思考・判断・表現】 ・被服素材の特徴、性能改善のための加工を生かし、快適で利便性のある衣生活を送ることができる。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・繊維の特徴や布の特徴、洗濯方法を理解して快適な衣生活を能動的に作ることができる。	○	○	○	8
	定期考査			○	○		1
				○	○		合計 70